News Release

No. 26-0125L
報道関係各位
2026 年 11 月 6 日
ヒューマンライフケア株式会社

神奈川県大和市に 2027 年 3 月 1 日開設
神経難病・がん末期の方の「その人らしい暮らし」を支える
住宅型ホスピス「ヒューマンライフケア大和ホスピスホーム」

介護事業や外国人介護人材関連事業で社会課題に挑むヒューマンライフケア株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：瀬戸口 信也、以下「当社」）は、2027 年 3 月 1 日（月）、神奈川県大和市にて神経難病やがん末期の患者の方を中心に受け入れる医療・リハビリ対応型住宅（住宅型ホスピス）「ヒューマンライフケア大和ホスピスホーム」を開設いたします。こちらは当社が運営する「ホスピスホーム」としては 5 施設目となります。全 32 室の個室を備え、提携医療機関と連携した 24 時間・365 日の介護・看護体制により、ご本人とご家族の想いに寄り添いながら、その人らしい暮らしを支えます。

【本件のポイント】

- ●2027 年 3 月 1 日（月）神奈川県大和市深見台 1 丁目にてホスピスホームを新規開設
- ●神経難病やがん末期の方を対象に、近隣の提携医療機関と連携し、介護・看護・医療がチームとなって 24 時間・365 日、きれ目なく生活を支援
- ●嚥下内視鏡による評価・訓練など「食」を支える専門的ケアに加え、365 日面会可能な環境と家族宿泊室を整備

■「ホスピスホーム」開設の社会的背景


※施設外観イメージ

厚生労働省が推進する第 8 次医療計画（2024～2029 年度）では、高齢化に伴う在宅医療ニーズの増加を見据え、医療・介護が連携した「退院支援」「日常の療養支援」「急変時の対応」「看取り」の 4 つの機能の整備を進めています。また、看取りに際しては、ご本人・ご家族の希望に沿った医療・ケアの提供が重視されています（※）。

一方、パーキンソン病や ALS（筋萎縮性側索硬化症）などの神経難病、がん末期の方は、病状の進行に伴い継続的な医療的ケアや介助が必要となり、自宅での療養継続が難しくなる場合があります。こうした方々が安心して暮らすためには、医療・看護・介護が連携し、個々の病状や希望に対応できる環境が求められています。

当社はこうしたニーズに対応するため、2023 年より神経難病やがん末期の方対象の住宅型ホスピスを東京都・神奈川県の 4 施設（うち東京都 1 施設は 2027 年 1 月開設予定）で展開し、開設済みの 3 施設は 2026 年 10 月時点で 93%以上の入居率を達成しています。今回、神奈川県のほぼ中央に位置し、横浜市や相模原市、東京都町田市と隣接する大和市に新施設を開設することで、幅広い地域の医療的ケアが必要な方とご家族に、安心して暮らせる新たな選択肢を提供します。

■「ヒューマンライフケア大和ホスピスホーム」の特色と今後の展望

「ヒューマンライフケア大和ホスピスホーム」は、神経難病やがん末期の方が、必要な医療・看護・介護を受けながら、自分らしい生活を続けられるよう支援する住宅型ホスピスです。施設内には全 32 室の個室に加え、機械浴室や家族宿泊室を設置。24 時間・365 日面会可能な環境を整え、ご家族と過ごす時間を支えます。

当社が 1999 年から培ってきた介護事業と人材育成のノウハウを活かし、介護・看護スタッフと提携医療機関が連携。神経内科専門医による診療・支援や緩和ケアに対応し、24 時間・365 日、切れ目のない生活支援を提供します。また、提携歯科医による嚥下内視鏡を用いた嚥下評価・訓練、歯科治療や義歯の調整などを通じて、食べる楽しみをできる限り維持できるよう支援します。さらに、ご本人とご家族の希望を尊重した個別のケア体制を整え、QOL（生活の質）の維持・向上をめざします。

当社は今後も「ホスピスホーム」の開設推進と、介護人材の育成やサービス品質の向上を通じて、誰もが安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現に貢献してまいります。

■本件に関するお問い合わせ■　ヒューマンライフケア株式会社　担当　篠塚
TEL：　03-6846-0223　FAX：03-6846-1217　E-mail：hlc@athuman.com

※出典：厚生労働省「在宅医療の体制（第 8 次医療計画の見直しのポイント）」

■ヒューマンライフケア大和ホスピスホーム 事業所概要

［所在地］ 神奈川県大和市深見台 1 丁目 4-31

［アクセス］ 小田急小田原線・相鉄本線「大和駅」南口より徒歩 11 分／「大和駅」より相鉄バス「天満宮」下車 徒歩 6 分
「大和駅」よりコミュニティバス［やまとん GO］深見地域「深見台 1 丁目」下車 徒歩 1 分

［定員］ 32 名（全室個室）

［ご入居いただける方］ 下記指定難病または、がんの診断を受けている方

※指定難病：パーキンソン病（ホーン・ヤール重症度分類： 3 以上・生活機能障害度： 2 度以上）／パーキンソン病関連疾患（進行性核上麻痺／大脳皮質基底核変性症）／多系統萎縮症（線条体黒質変性症／オリーブ橋小脳萎縮症／シャイ・ドレガー症候群）／脊髄小脳変性症／筋萎縮性側索硬化症／多発性硬化症／重症筋無力症／ハンチントン病／ライソゾーム病／副腎白質ジストロフィー／脊髄性筋萎縮症／球脊髄性筋萎縮症／慢性炎症性脱髄性多発神経炎

［ご対応可能な医療処置］インスリン投与／胃ろう／経管栄養／在宅酸素／気管切開／人工呼吸器／たん吸引／中心静脈栄養／皮下輸液ポンプ／尿道カテーテル／ストーマ／床ずれ ※この他の医療処置についてはご相談ください

【お問合せ】0120-47-0294（開設準備室／受付 平日 9:00～18:00）

https://kaigo.human-lifecare.jp/facilities/hh005_Yamato/summary.html

■「ヒューマンライフケア」とは

全国 177 事業所（2026 年 10 月現在）で幅広く介護サービスを展開し、介護事業におけるワンストップソリューションを実現しています。デイサービス、グループホーム、有料老人ホーム、ホスピスホーム、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援、訪問介護、訪問看護などの介護事業と介護教育事業、特定技能登録支援事業を、教育部門である「ヒューマンアカデミー」、人材サービス部門である「ヒューマンリソシア」などヒューマングループ各社と強力に連携しながら行っております。心に届く最高のサービスを目指し、一人ひとりのご利用者様に応じたサービスのご提供と、家族の皆様が笑顔で暮らせる環境づくりのお手伝いをしてまいります。

住み慣れた自宅で安心して暮らせる環境を整えることにより、世界全体で達成すべき目標として掲げられた SDGs（持続可能な開発目標）の目標 3「すべての人に健康と福祉を」、目標 11「住み続けられるまちづくりを」の達成に、また外国人介護人材に向けた介護教育と就業機会の創出により、目標 4「質の高い教育をみんなに」の達成に貢献します。

●ヒューマンライフケア ウェブサイト：https://human-lifecare.jp

■ヒューマングループについて

1985 年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を理念に掲げ、教育を中核に人材、介護、保育、IT、美容、スポーツと多岐にわたる事業を展開しています。

深刻な社会課題である「労働人口減」に対し、各事業の専門性を活かした 4 領域で解決を推進しています。教育・人材事業による「海外人材の活用」「成長産業分野の専門教育と労働移動」、介護（通所・訪問・ホスピス等）や保育・学童運営による「国内労働力の確保」、RPA・AI・IT 活用を通じた「生産性の向上」に注力。SDGs への貢献を通じて、誰もが自分らしく生き、学び、働ける社会の実現と、時代に即した労働環境の革新に取り組んでいます。

●ヒューマンホールディングス ウェブサイト：https://www.athuman.com/

会社概要

ヒューマンライフケア株式会社

●代表者： 代表取締役 瀬戸口 信也
●本社所在地： 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階
●設立： 2010 年 4 月 ※介護事業開始：1999 年
●資本金： 1,000 万円
●公式サイト： https://human-lifecare.jp

■本件に関するお問合わせ■ ヒューマンライフケア株式会社 担当 篠塚
TEL： 03-6846-0223 FAX：03-6846-1217 E-mail：hlc@athuman.com
■ヒューマングループに関するお問い合わせ■ ヒューマングループ 広報担当 若林
E-mail：kouhou@athuman.com